

令和5年度 五ヶ瀬町立鞍岡小学校関係者評価書

NO	評価項目	関係者総合評価	学校訪問時の感想及び要望等
1	授業は、子どもたちにとって分かりやすく一人一人の実態に配慮されている。	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・下校中の子ども達を見ると、楽しそうに笑ったり、たまにはみんなで歌ったりしていて、癒やされます。 ・少ない人数でよくきれいに清掃されていると感心します。 ・通学時にふらふらと車道にはみ出して歩いていることも希に見かける。 ・交通安全・避難訓練に関しては、地域全体で取り組む必要があると思う。 ・子どもの学校での生活について、親身になって協力して頂き、親としてとてもありがたい。
2	子どもたちは毎日楽しそうに学校に通っている。	3.8	
3	子どもたちは、学校内外でしっかりとあいさつや返事ができている。【五か条 あ】	3.4	
4	子どもや保護者が学校生活に悩みがあって相談したとき、職員は親身に応じている。	3.6	
5	子どもたちは、自分の身を守る行動（交通安全・避難訓練）を心がけている。	3.4	
6	子どもたちは、責任をもって係活動や当番活動に取り組んでいる。	3.8	
7	清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができています。	3.8	
8	G授業は計画的に実施され、学校生活に生かされていると感じている。	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級は先生方も本当に大変だろうと思いますが、逆に児童同士で教え合ったりと、協力して学ぶことの大切さを感じるのではと思います。 ・意見を言う機会は十分にあるが、大きな集会になると不安がある。 ・朝にしっかりとご飯と味噌汁を食べているかは不明である。 ・子ども達はみんな姿勢がよく、背筋が伸びているように感じた。 ・意見発表の際、始めは遠慮をしている様子もある。
9	子どもたちは、みんなの前で意見を言うことができている。（授業や集会）	3.4	
10	早寝・早起き・朝ごはん（朝大豆）、健康な歯や口腔の衛生等、健康的な生活習慣づくりのための取組に努めている。【五か条 い・え】	3.2	
11	教育活動により、子どもたちは命の大切さを感じ、思いやりの心が育っていると感じる。	3.8	
12	地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動が意図的に実施されている。	3.8	
13	子どもたちに自分の将来のことについて考えるような取組や支援を学校はしている。	3.6	
14	毎日家庭で子どもの学習（宿題・復習）の様子を見ることができている。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの問題は永遠のテーマの気がします。落とし所をどこをもって行くかが、これからの課題。 ・「ほめほめポスト」を設置することで、小学校との距離が近くなったように思いますし、より子ども達の行いに関心が向くのではないかと思います。 ・一部の子どもが宿題ができていない。 ・自然学校でも本を読む子はいる。 ・特に男の子のゲーム時間のコントロールが不安。 ・本に触れるきっかけとしてマンガクラブのようなものがあってもよいのではないかと考えている。
15	家庭で学校のことをよく話す。（学校からの配布物を見ている）	3.2	
16	地域の行事に子どもたちが積極的に参加・協力する体制ができています。	3.8	
17	読書推進の取組により、子どもたちが読書に親しんでいると感じる。【五か条 う】	2.6	
18	家庭では、メディア（TV・スマホ・タブレット・ゲーム）コントロールができています。【五か条 お】	2.8	
19	学校の教育方針や重点的な取組が明確で、保護者に浸透するよう努めている。	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の皆様は、家族ぐるみでの付き合いをさせてもらうこともあり、非常に身近で相談しやすい。
20	いじめ防止のための対策やいじめ発生時の対応・体制がとれている。	4	
21	教職員は、地域の行事に積極的に参加するなど、地域住民との交流ができています。	4	

【 令和5年度の総括評価 】

○地域の行事に積極的に参加する子ども達に、そして、指導して下さる先生方に感謝をして、よりよい鞍岡を作ることができた。

○授業参観や運動会など学校での子ども達の姿を観させていただきました。授業中に手を挙げて、しっかり自分の意見をみんなに発表する姿が見られてよかったです。教室もきちんと整理されていて、よかったと思います。やっぱり一番の課題はメディアコントロールだと思います。間違った情報に左右されないように、自分の信念をしっかりと子どもに育ててほしいです。

○運動会での子ども達の様子を見ますと、学校の雰囲気がよく分かります。少人数ながら、役割・分担をきびきびこなし、下級生をまとめる上級生、そして、背筋をしっかり伸ばして、チームの一員としてがんばっている低学年の子ども達、先生方の行き届いたご指導を感じます。そして、何十年も守り続けてくれている鼓笛隊の演奏、本当に子ども達は地域の宝です。

○家庭でのゲームに関しては、コントロールが難しいと感じている。テレビに映して行うタイプのゲームであれば、親が見ているなどできるが、個人向けの小さい機械のゲームは親も監督することが難しい。親と子どもプラス第三者（専門講師など）を交えて、ルール作りを行うとよいのでは。

○読書に関しては、日本の優れたマンガも含め、他者との共感をテーマとして取り組んでみてはどうだろうか。

○本年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行により、鞍岡小学校伝統の学校行事の形に、規制期間中に試行錯誤して得た新しい学校行事の形のよいところを組み合わせしていく、新たな第一歩を始める年だったように感じます。鞍岡小学校のよさ、鞍岡っ子のよさを先生方に引き出していただきました。ありがとうございました。個人的には、祟りによる子ども達のメディア依存から、画面を通じた世界だけでなく、もっと外へ、もっと友人たち、地域の人達とのつながりへ、意識が目が向くよう仕掛けていった年でした。学校行事でも、子ども達からは、鞍岡で地域の方との交流を通していろいろな話を聞いた、楽しかった等という声を聞きました。今後も、地域と接する機会を増やしていただければ、よいなと感じました。